

令和元年7月29日
高松空港（株）

○夏季休暇期間中における動物検疫の強化について

夏季休暇の時期を迎え、海外との人や物の動きが一層激しくなり、人や物を介した家畜の伝染性疾病の侵入リスクが極めて高まることから、今般農林水産省より、動物検疫の強化について注意喚起がありましたのでお知らせします。

特に、訪日外国人旅行者の上位を占めるアジア諸国においては、昨年からアフリカ豚コレラの流行が拡大しており、人や物の動きが一層活発になる夏季休暇シーズンを迎えるに当たり、動物検疫所では、各地でキャンペーンを行って啓発を強化するとともに、入国者に対する携帯品検査を徹底することとされています。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください

記

○農林水産省ウェブサイト

「家畜の伝染性疾病の侵入を防止するために～海外へ旅行される方へのお願い～」

<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/mizugiwa.html>

「肉製品などのおみやげについて（持ち込み）」

<http://www.maff.go.jp/aqs/tetuzuki/product/aq2.html>

「アフリカ豚コレラへの対応」

<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/asf2018.html>